

広報 ごしよがわら

発行 五所川原市
〒037
青森県五所川原市字岩木町12
☎0173-352111(代)
編集 総務部企画調整課
印刷 ㈱北斗オフセット

市の人口 総数51,427人(男24,528・女26,899)世帯数15,158(1月31日現在)

(毎月2回 1日・15日発行)



軽快に跳ねる児童たち

後ろ回し跳びもできるよ

第8回市内小学校なわとび大会が2月4日午前9時から市民体育館に15校・およそ980人の児童が参加して行われ、父兄たちの熱い声援を受けていました。

競技は第1部の予選と、第2部のチャレンジタイム、第3部の決勝にわたって行われ、チャレンジタイムではあや前回しとび、サイドクロス前回しとび、チャンピオンとび後ろ回しとびなど高度な技に挑戦。わが子の熱演ぶりに、観戦する父兄たちの間から盛んに声援が飛び交っていました。

平成2年

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

No.705

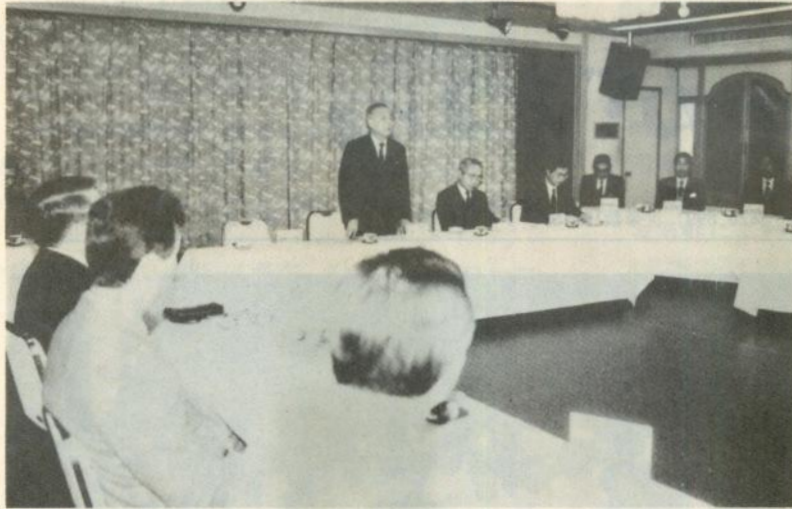
わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

2-15

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。



懇談会であいさつする佐々木市長

「閉店時間が早い」

地元誘致企業と市内官庁との懇談会が一月三十日午前十時から本町・五松苑に市の誘致企業十

二社のほか、佐々木市長、久慈県企業立地対策室長、川口商工会議所会頭など四十人ほどが出席して開かれ、中央との賃金格差の是正等について意見を交換しました。

著しい出荷額の伸び

誘致企業との懇談会開く

平成元年十二月三十一日現在、県内の誘致企業は二百十四社(うち市内十二社)となっています。

また、市の昭和六十二年の製造業出荷額は三百一億四千五百万円で、十年前の昭和五十三年からの伸長率が三一九・六%(県平均一四五・三%)で県内八市では最も高くなっています。

一方、昭和六十二年の当市の製造業出荷額に対する市誘致企業の占める割合は、

七九・六%(二百五十六億円)となっており、市では企業誘致のための主要な施策として①津軽自動車道の着工②工業用水道の給水開始③第二工業団地の計画策定などを進めています。

懇談会では、はじめに佐々木市長が「誘致企業を取り巻く環境には厳しいものがあるが、製造業の出荷額の伸びが県平均をはるかに上回るなど、着実に業績をあげている。明年度からの津軽自動車道の一部着工な

ど、市経済も第二の変革期に入っているため、地域経済の発展のためにも率直なご意見を承りたい」とあいさつを述べました。

次いで市担当職員から誘致企業についての現況説明があり、辻茂青森職業訓練短期大学校長の司会ですすめられた意見交換では、誘致企業側から「従業員の通勤の足確保に苦労している。商店の閉店時間が早過ぎ

る」、「とくに地元では中間管理職の人材が不足しており、本社からつれて来ている現状だ」、「中央との賃金格差の是正を行って、地元の若い労働力の流出を防がなければならぬ」等の意見が出されました。

また県立工業高校からは「若い人は週休二日制をは

じめとする余暇や遊ぶ環境を求めて市外に流出している」、公共職業安定所からは「地元企業では、従業員の補充が精いっぱい増員が出来ない現状で、対応としては賃金格差の是正や雇用管理、福祉施設等にもっと力を入れるべきだ」、労働基準監督署からは「誘致企業の労働災害が増えており、採用時における女子従業員の安全教育を徹底すべきだ」等の意見が述べられました。

一方、川口商工会議所会頭は、商店の閉店時間について「駐車場不足や従業員の足の問題もあるが、総合的に検討して前向きで改善したい」と述べました。

久慈県企業立地対策室長は「地域にも競争原理を導入し、既存の企業も若者、従業員の定着に努めてほしい」と述べました。

市では、今後も同懇談会を継続して開催する予定です。

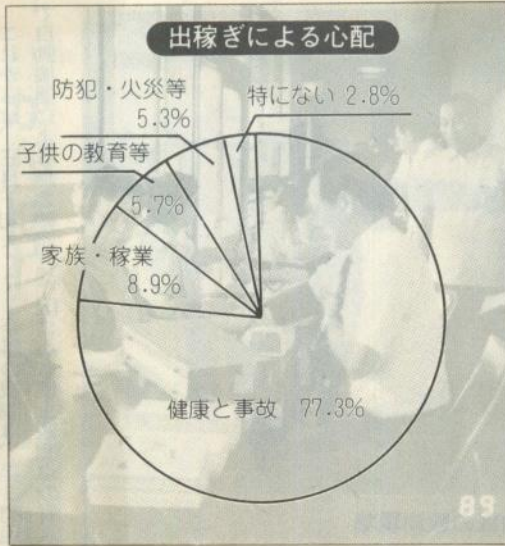


市民相談室はこのほど、本年度の出稼ぎ実態調査の結果をまとめました。

「農業だけでは生活が出来ない」が七〇%を超すなど、出稼ぎに依存している農家経済の実態が浮き彫りになっていきます。

調査は昨年十二月、出稼ぎ相談員、出稼ぎ留守家庭世話人の協力を得て実施したもので、対象は七百四十四世帯で四百九十四世帯の回答があり、回収率は六九・二%でした。

出稼ぎ者の職業別では農業が九〇・九%を占め、日雇い、パート、その他が九・



一%と農家が大半となっています。

現在の職業に関する意識では「仕方がないので続ける」が五一・〇%で半数を占め、「やめたい」(一二・〇%)、「将来希望がない」(一九・八%)を含めると八二・八%となり、農業に不安を抱きつつも、農業から離れられない実態が推測されます。

出稼ぎ者の年齢は三十～六十歳が全体の八七・三%で、五十歳を超える人が半数以上(二百六十七人)を占めています。

「農業だけでは生活出来ない」72・7%

出稼ぎ実態調査の結果

「世帯主」の出稼ぎが前年より五・一%増え七七・二%に上り、家計の負担が世帯主に重くのしかかっているといえます。

出稼ぎの年数は「十年以上」が六三・五%を占め、出稼ぎの依存が長期・定着化しています。

出稼ぎの目的調べでは、「農業だけでは生活出来ない」が七二・七%と前年より若干増え、減反政策等による農家経済への圧迫が推察されます。

「出稼ぎを続けますか」の調べでは、「出稼ぎを続ける」事情が許す限り続ける」が合わせて七一・〇%で、前年より四・三%増えています。

「出稼ぎによる心配」は「健康と事故」が七七・三%と大半を占め、出稼ぎ者の多くが世帯主であることから事故に遭った場合、今後の生活に対する不安が数値となっていると考えられます。



「ふるさとビデオ」 ご視聴ください

市では市庁舎二階ロビーで「ふるさとビデオ」を放映しています。

お越しの際はご視聴ください。

放映しているのは土、日曜日と祝祭日を除く毎日午前十時から正午まで、市の行事、催し、風物など短いもので三分から長いもので三十分と、およそ十二本の内容が含まれています。

ビデオは、市内敷島町の織野正さんらがおりにふれ撮ったもので、金多豆蔵(傘踊り、五分)、春うらら(ふたば保育所、三分)、在宅入浴サービス(市社協、十分)、市老連踊り(お祭り広場、十三分)、中央小防犯パレード(十二分)などといった内容となっております。



「ふるさとビデオ」をご覧ください



毘沙門地区の観測現場

地吹雪観測が終わる

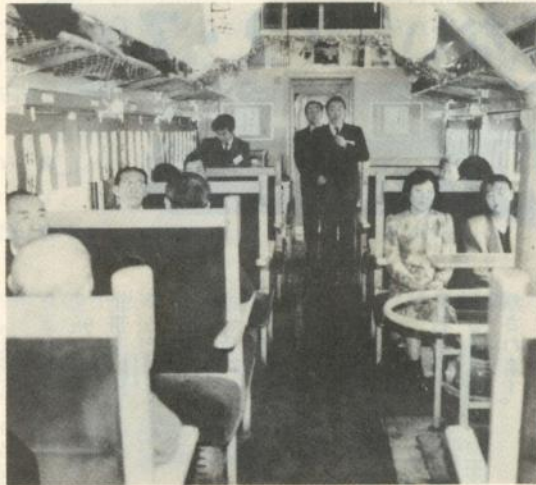
国立防災センターと同新庄雪氷防災技術支所が一月下旬から市内毘沙門地区を中心に行っていた、地吹雪の集中観測が一月三十日ですべて終わりました。

データの解析・研究に期待

研究員たちは今後のデータの解析・研究に期待を寄せています。
これからは、三月下旬まで自動機器による無人観測が続けられます。
今年の観測は、毘沙門地区にある地上観測点の有人

今年には観測期間中、第一級の寒波が襲来し多くの貴重なデータが得られたと、

レーザー観測が二十三日から、また低層ゾンデ気象観測用気球による上空の観測が二十四日から行われていました。



石炭ストーブを囲んで正月気分

旧正月の思い出を乗せて

ストーブ列車が走る

一月二十七日は旧正月の元旦ですが、旧正月越の同月二十六日、津軽鉄道(株) 会社(三和 満社長)は旧

正月越のストーブ列車を運行し、盃を傾けながら旧正月の思い出を語り合いました。

この日運行されたのは、五所川原十三時二十六分発、中里折り返しの一往復で、沿線の招待客五十人ほどが参加。

石炭ストーブが赤々と燃えた飾り付け列車の座席では、おせち料理を囲んでなごやかに談笑。いまではほとんどの行事が催されていないので、昔の旧正月の思い出話に花を咲かせていました。

入札最終結果等を公表 財政課内に掲示

市では一月から市で発注する請負工事で、その工事にかかわる指名業者名と入札最終結果を公表しています。
公表するのは三百万円以上の工事で、市庁舎四階の財政課に掲示しています。



掲示板に張り出される入札結果



風がなくても揚ったよ

凧揚げ、無風にガッカリ 来年は揚げるよ!

津軽カイトクラブ・陸奥新報社主催の第八回津軽大凧を揚げる大会が二月四日午前十時から県立五農校実習田に青森、弘前、西北五地方のほか仙台など各地の凧の会会員や親子づれなど大勢のファンが参加して行われたが、「立春」の好天に恵まれたものの無風状態とあって昼過ぎに中止となりました。

しかし、親子づれなどが実習田の雪原で、「それー」と走りながら元気いっぱい凧揚げに挑戦、主催者側が用意した豚汁に舌鼓をうち、来年の挑戦を誓っていました。

がんばれ、南小チーム

ミニバスケットで全国大会へ

市立南小学校(渋川正義校長)の女子ミニバスケットボールチームが、去る一月十三、十四の両日にわたり青森市の県営体育館で行われた「第八回青森県バスケットフェスティバル」で

優勝し、三月二十八日から四日間にわたり東京・代々木第二体育館で行われる全国大会に出場することになりました。

同チームは、十月二十一日、二十二の両日青森市で行わ

れた第十九回青森県ミニバスケットボール教室交歓大会で優勝し、フェスティバルでは準決勝まで勝ち残ったチーム(三位まで四チーム)が参加して行われたものです。

子供用そり

30個贈る

(株)マルカかさい

(株)マルカかさい(葛西専造社長)は一月二十五日、前田野目・勤労者野外活動施設に子供用のそり「スノーUFO」三十個を寄贈しました。

直経六十センチのプラスチック

社会福祉にと

一万八千余円寄付

五所川原商工会議所婦人會(原芳江会長)はこのほ



小山田会長に手渡す原会長

ど、社会福祉基金に役立ててくださいと市社会福祉協議会へ一万八千九百二十六円を寄付、原会長が小山田会長に手渡しました。

第六回ごしよがわら産業まつりで、市商店街振興組合連合会と共催した「ザ・直売市」の収益金の一部を贈ったものです。

ご利用ください。



「身近な生きもの調査」 調査員募集

このたび環境庁では「身近な生きもの調査」を実施することになりました。

この調査は、広く一般の自然愛好者のボランティア参加を得て、わが国の動植物の分布や生態を調べ、国土や身近な自然を診断しようとするものです。

▽募集期間 三月末日まで

※案内パンフレット、申し込みカード等詳しいことは市歴史民俗資料館(☎35九五五五番)へお問い合わせください。



課税台帳の縦覧を！ 固定資産登録の確認をしましょう

市では、平成2年度の固定資産課税台帳を次の日程で縦覧に供します。

関係者は、各自の固定資産課税台帳を縦覧し、登録された事項を確認してください。

これは、固定資産の評価額など平成元年度の固定資産税と都市計画税の税額の算定の基礎となるものです。

特に、昨年中に家屋を新增築したり、土地を取得された方は必ず縦覧しましょう。

なお、登録された事項に不服がある場合は、3月30日までの間に固定資産評価審査委員会に審査の申し立てをすることができます。

▷縦覧期間 3月1日～3月20日(ただし、日曜日は除きます)平日は午前8時30分から午後4時45分まで。土曜日は午前8時30分から午後0時15分まで。

※詳しいことは、市税務課(☎352111番内線201番)へどうぞ。

青少年を非行から守ろう

保護者の皆さんには、今春進学や就職をされる子供さんがいると思います。

この時期は、卒業シーズンを控え、解放感などからせっかく身につけた道徳が忘れがちになり、特に好奇心から酒、タバコ、万引、異性関係等の非行に走りやすくなります。

このため、非行防止に対する皆さん方の「愛の一声」が、青少年の健全育成に大きな力となります。お互いに、非行を未然に防止し「後で悲しまない」ためにも、次のことを実践しましょう。

▷他人の子供でも「愛の一声」をかけて指導し

ましょう。

▷少年に有害な環境を与えるものについては、皆さんの力で排除しましょう。

▷「自分で悪い子だ」と思っている少年ほど非行に走りやすいものです。周囲で励ましてやりましょう。

※青少年の非行や、有害環境、たまり場等、何かお気づきのことがありましたら、どんなことでも遠慮なくお知らせください。

◎連絡先 市青少年対策室・市少年指導委員協議会(☎352111番内線355番・342941番)

五所川原市立高等看護学院 専任教員募集

▷応募資格 35歳までの方で、看護教員経験のある方及び3年課程卒業以上で看護婦経験5年以上ある方。

▷待遇 市の給与規定による。

▷学校の概要 2年課程夜間定時制(1学年40名)

▷募集締切 3月15日

※詳しくは、五所川原市立高等看護学院(☎037市内字布屋町41☎342715番)へお問い合わせください。

一般廃棄物処理業 許可申請受付

市では平成2年度一般廃棄物処理業の許可申請を受付します。

▷期間 2月16日から2月26日まで

※お問い合わせは、市衛生課(☎352111番内線269番)へ。

こんなとき、 こんな年金が

国民年金には、大きく分けて3つの年金給付があります。

1. 年をとったとき、65歳から支給される老齢基礎年金
2. 病気やケガなどのために障害者になったときに支給される障害基礎年金
3. 不幸にして死亡されたときに、残された家族に支給される遺族基礎年金

これらの国民年金の管理・運営は、国が責任をもってあたり、みなさんの保険料のほか、国が年額の3分の1を負担しています。

また、年金額は物価上昇に合わせて毎年スライドしていきますので目減りすることはありません。

これらの年金を受けるためには、国民年金に加入し、毎月キチンと保険料を納めていなければなりません。保険料を納めていないと、年金を受けられなかったり、年金額が減らされたりすることがあります。

スポーツ教室の開催

だれでもできる軽スポーツ(ソフトバレーボール、ユニホック他)とスキー教室を開催します。

▷参加対象 一般市民に限る(スポーツ傷害保険加入済み、または加入のこと)

▷日程 2月24日(土)、28日(水)
3月3日(土)、6日(火)、10日(土)、
13日(火)、17日(土)、20日(火)

▷受付 2月24日(土) 市民体育館(9:00~12:00)

※詳しいことは、市教育委員会社会教育課(☎352111番内線250番)へどうぞ。

甚句を習ってみませんか!

伝統ある五所川原甚句を広く普及させ、後世に伝えるため、「五所川原甚句教室」を開きます。ふるってご参加ください。初心者大歓迎。

▷とき 毎月1日(月1回)午後6時から

▷ところ 新宮町・新宮集会所

▷指導料 不要です。

※また、会員も募集中です。

▷お問い合わせ 詳しいことは、市内旭町75、五所川原甚句保存会(千葉勝廣会長・☎351422番)へ。

りんご剪定講習会 広域新農業センター

▷日時 3月7日午後1時~3時

▷場所 広域新農業センター(毘沙門)

▷講師 石沢重信青森地区農業改良普及所長

※詳しいことは、市広域新農業センター(☎372104番)へどうぞ。



会費
1人年間 **350円**

交通災害共済に
家族そろって加入しましょう

加入申込…平成2年2月1日から予約受付
受付窓口…市役所市民課交通防犯対策室
(旧市内・栄・中川・松島地区)
市役所各支所
(七和・長橋・飯詰・三好・毘沙門・梅沢地区)

平成2年度奨学生を募集

(財)五所川原市教育振興会

教育振興会では、次の要領により平成2年度の奨学生を募集します。

希望する人は、在学している学校を経て市教育委員会総務課へお申し込みください。

▷申し込み期間 2月1日から2月28日まで

▷応募資格 次のすべてに該当する人として

①平成2年4月に高等学校または大学に入学志望の人

②人物、学業ともに優秀で、かつ健康であるが著しく学資の支弁が困難と認められる人

③市内に在住している人

④過去3か年の全教科の平均成績が3.5点(5段階評価)以上の人

▷貸与金額

①高等学校…公、私立とも入学金および授業料相当額(在学期間)

②大学…公、私立とも入学支度金として40万円限度

▷返還方法

①高等学校…卒業の翌年から、奨学金を受けた期間の倍の期間以内。

②大学…卒業の翌月から6か月経過後、就学期間の倍の期間以内。

※なお、詳しくは市教育委員会総務課(☎352111番内線293番)へどうぞ。

新ダイヤで出発進行 JR五所川原駅

JR東日本では、3月10日からダイヤ改正を実施します。

五所川原関係の発車時刻の改正は下記のとおりです。

上り(鯉ヶ沢方面)	下り(弘前方面)
5:39(5:36)	8:11(8:10)
8:09(8:08)	13:49(13:50)
12:29(12:28)	18:28(18:24)
16:06(16:03)	20:30(20:20)
17:16(17:13)	
21:11(21:01)	



()内は改正前の時刻

五所川原市制施行35周年記念事業 広報ごしょがわら題字募集

市では、市制施行35周年を記念し、毎月2回発行している広報の「題字」を募集します。

- ▷応募資格 どなたでも応募できます。(市民及び市出身者に限る)
- ▷応募方法 ①題字は漢字、ひらがな、ローマ字、カタカナ又はその組み合わせいずれでも可、色は黒一色。用紙は画用紙かセント紙。②縦3.3cm、横15.5cmの長方形の中に自由にデザインしてください。(「広報ごしょがわら」の表現にはこだわりません。)③デザインの簡単な説明と住所、氏名を付記してください。
- ▷応募制限 1人何点でもかまいません。
- ▷賞 特選1点(図書券3万円分)、準特選2点(同2万円分)
- ▷応募締切 2月28日
- ▷発表 広報ごしょがわら4月15日号紙上(予定)
- ▷審査員 伊藤正規画伯
清川滋圃青森放送五所川原支局長
大川次盛青森テレビ五所川原支局長
釜蒔裕市教育長
- ▷その他 他市町村の題字を参考にしたい方には、資料をおあげしますので市企画調整課へご連絡ください。
- ▷応募先及び問い合わせ先
市企画調整課(〒037 五所川原市字岩木町12
☎352111番内線318番)

休日・夜間の急病は
在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番
(救急医療部会)

無味の忌や濃墨影さす雪中花
人日や喪に伏すころつつしみて
冬深しふっくら煮豆や母の顔
津軽野に黒煙列車冬深し
早春やまた我が影の長くなり
岩木川人寄せつけず冬深し
早春の山里静か遠梵鐘
早春の漣寄せて十三の景

内山涛村 対馬暉子 小野雪村 工藤暁村 渋谷房子 工藤仙峯 高橋鉄輪 三和童村

津軽鉄道 水車吟社

俳

句

3月の保健センター相談日

3月2・9・16・23・30日です。(毎週金曜日)

- ▷時間 午前10時～午後3時
- ▷内容 血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
- ▷受付時間 12:45～13:00まで
- ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
3歳児は尿検査も行いますので、当日小ビンに尿を入れてもってきてください。
- ※注意 ①6カ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが、当日つごうで来れない場合は、母子健康手帳をもって衛生課窓口セットをもらいにきてください。(ただし生後6カ月、7カ月児に限る。)
- ②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんはご遠慮ください。

月	齢	対象児	期日	内容
3	カ月児	H元年11月生	3月13日(火)	健康診査
6	カ月児	H元年8月生	3月20日(火)	健康相談
1	歳児	H元年2月生	3月26日(月)	健康相談
1	歳6	S63年9月生	3月27日(火)	健康診査
3	歳児	S61年11月生	3月15日(木)	健康診査

人の命を救う「愛の献血」にご協力を!

期日	時間	場所
2月26日 (月)	午前10時から 午前11時まで	本町 マルカ かさい駐車場内
	午後3時から 午後4時まで	ホテルサンルート 五所川原前

みんなの健康教室

- ▷日時 2月23日(金) 午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷講師 佐藤浩平先生
(白生会理事長)



- ▷テーマ 「温泉療法について」
- ▷主催 北五医師会・市民保健協議会